

平成27年9月関東・東北豪雨を踏まえた 「避難を促す緊急行動」の取り組み

平成27年9月 関東・東北豪雨の概要

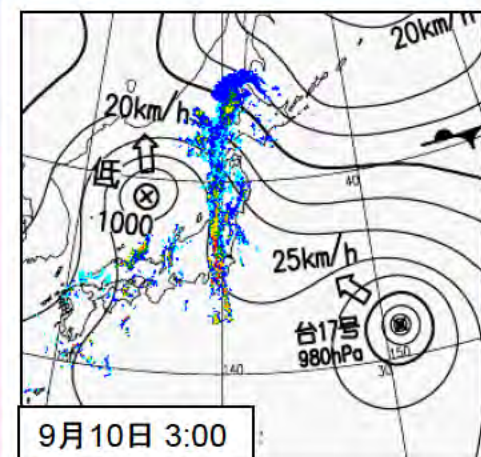
降雨の概要

○ 台風第18号及び台風から変わった低気圧に向かって南から湿った空気が流れ込んだ影響で、特に関東地方と東北地方では記録的な大雨となった。

○ 9月10日から11日にかけて、16地点※で、最大24時間降水量が観測史上1位を記録した。

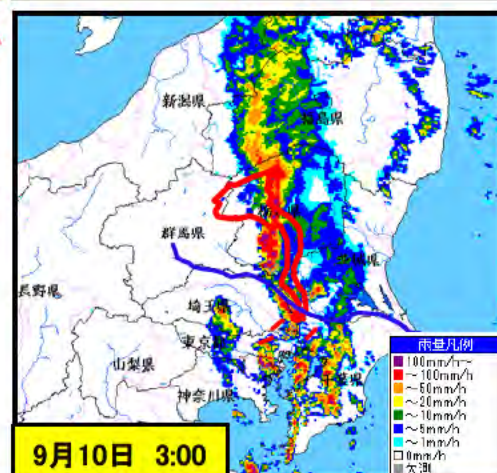
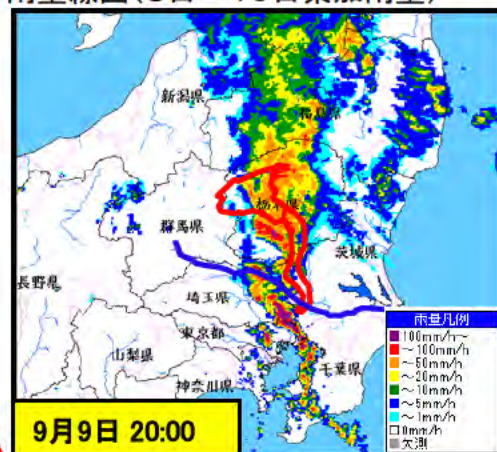
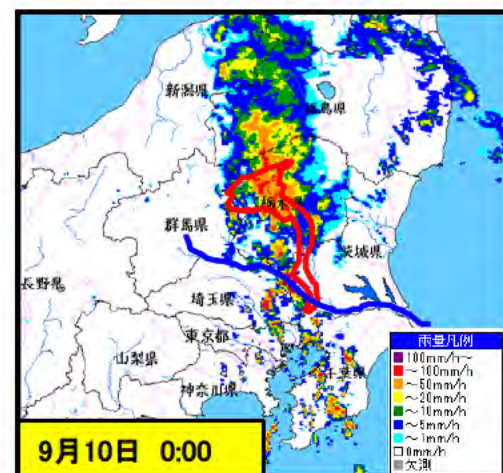
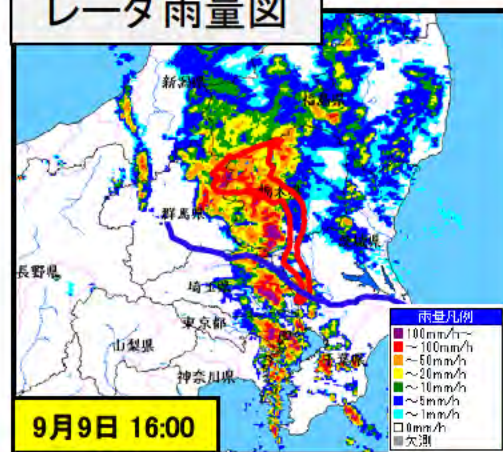
※統計期間が10年以上の観測地点を対象（気象庁資料より一部抜粋）

気象・降雨の概要



等雨量線図(8日～10日累加雨量)

レーダ雨量図



観測史上1位を更新した地点

※アメダス観測値による統計

	都道府県	市区町村	地点名	降水量 (mm)
①	宮城県	栗原市	鶯沢(ウグイザワ)	194.5
②	宮城県	加美郡加美町	加美(カミ)	238.0
③	宮城県	仙台市泉区	泉ヶ岳(イズミガタケ)	293.0
④	宮城県	刈田郡蔵王町	蔵王(ザウ)	180.5
⑤	福島県	南会津郡南会津町	南郷(ナゴウ)	161.5
⑥	福島県	南会津郡南会津町	館岩(タニイ)	262.0
⑦	茨城県	古河市	古河(コガ)	247.0
⑧	栃木県	日光市	五十里(イカリ)	551.0
⑨	栃木県	日光市	土呂部(トロボ)	444.0
⑩	栃木県	日光市	今市(イマチ)	541.0
⑪	栃木県	鹿沼市	鹿沼(カヌ)	444.0
⑫	栃木県	宇都宮市	宇都宮(ウツノミヤ)	251.5
⑬	栃木県	佐野市	葛生(クスウ)	216.5
⑭	栃木県	栃木市	栃木(トキ)	356.5
⑮	栃木県	小山市	小山(オヤマ)	268.5
⑯	埼玉県	越谷市	越谷(コシガヤ)	238.0

堤防決壊にともなう氾濫流による家屋の倒壊・流失

出典：平成27年10月5日 国土交通省 水管理・国土保全局 報道記者発表資料

- 常総市三坂町地先(左岸21k付近)で、堤防が約200m決壊。
- 決壊箇所周辺では、氾濫流により多くの家屋が倒壊・流失。



常総市三坂町地区



：利根川流域



被災状況(全景写真)



被災状況(拡大写真)



平成18年



平成27年9月11日

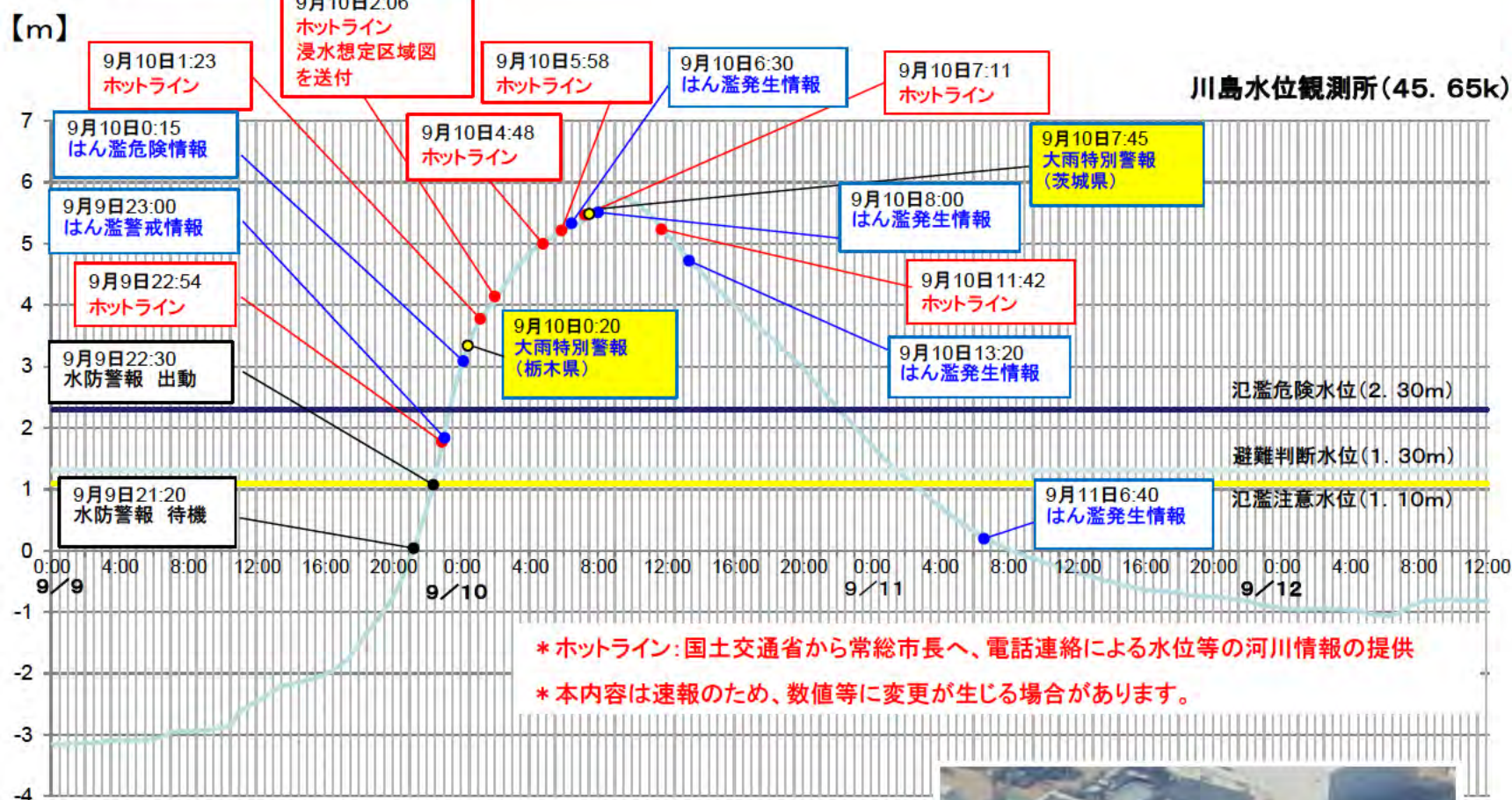
- 平成27年9月10日 12時50分 堤防決壊
- 決壊幅 約200m

地方公共団体による避難判断、広域避難

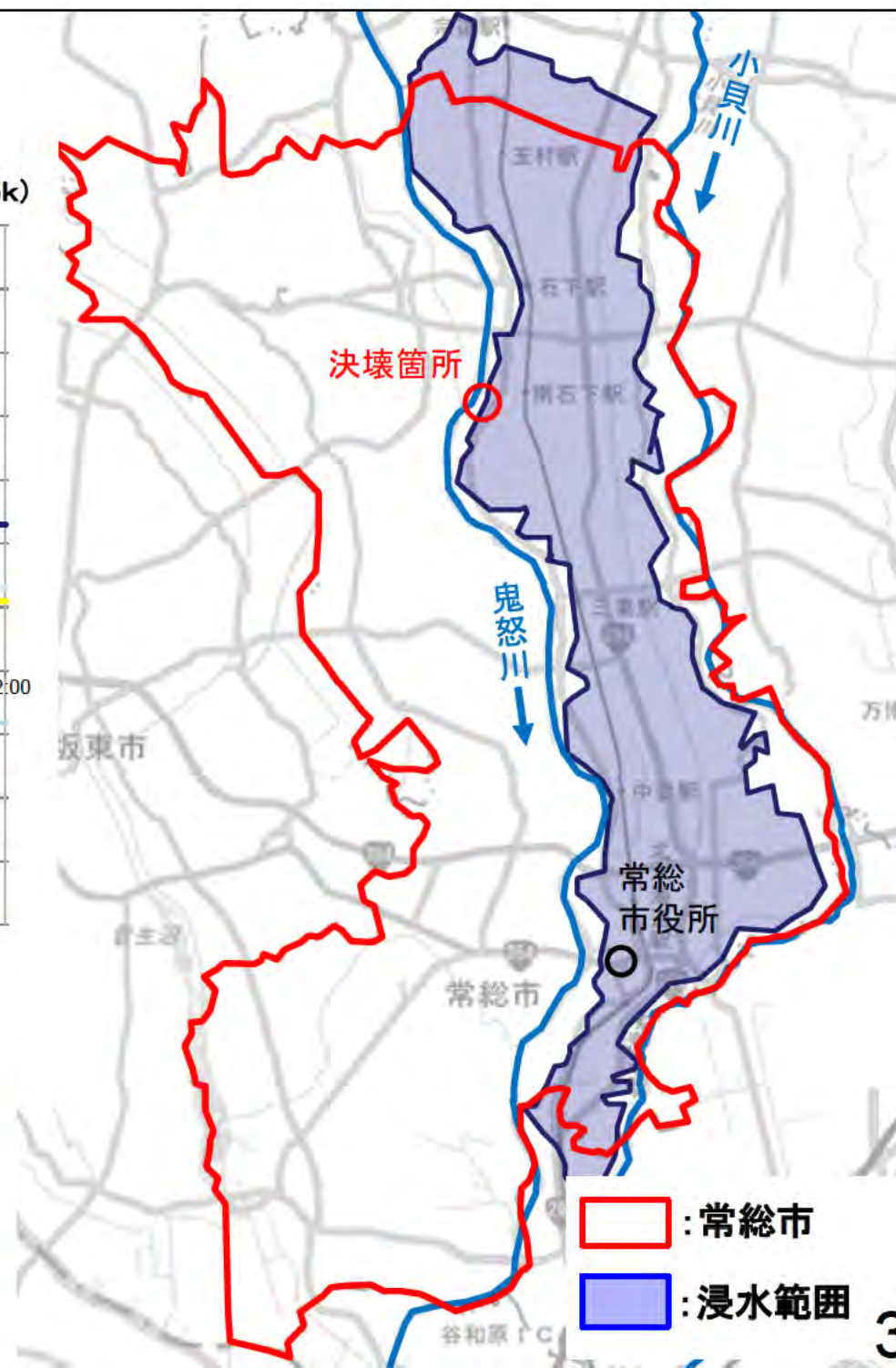
出典：平成27年10月5日 国土交通省 水管理・国土保全局 報道記者発表資料

- 常総市に対して、はん濫危険情報、浸水想定区域図などを提供するとともに、事務所長から市長に河川の状況について電話連絡（ホットライン）等を実施。
- 常総市の鬼怒川を挟んで東側のエリアはほぼ全域が浸水し、防災拠点である常総市役所も浸水。

情報提供の状況



常総市役所の浸水の状況



- 浸水は約40km²と広範囲に及び、宅地及び公共施設等の浸水が概ね解消するまでに10日を要した。
- 約4,300人が救助されるなど、避難の遅れや避難所の孤立化が発生。

鬼怒川下流域における一般被害の状況

項目	状況等
人的被害	死亡2名、重症2名、中等症11名、軽症17名
住宅被害	床上浸水 4,400件 床下浸水 6,600件
救助者	ヘリによる救助者数 1,343人 地上部隊による救助者数 2,919人
避難指示等	①避難指示 11,230世帯、31,398人 ②避難勧告 990世帯、2,775人 (※29日16時現在)
避難所開設等	避難者数 1,786人 (市内避難所 840人、市外 946人) (※18日11時現在)

(茨城県災害対策本部 10月1日16時以前の発表資料より常総市関連を抜粋)



自衛隊員にボートで救出された人たち 毎日新聞社



屋根からヘリコプターで救助される人 毎日新聞社



常総市役所から駐車場を撮影(撮影日:9/11) 周辺は浸水し、防災拠点の市役所も孤立化。

平成27年9月関東・東北豪雨を踏まえた
「避難を促す緊急行動」の取り組み

被災した場合に大きな被害が想定される国管理河川において、以下を実施

1. 首長を支援する緊急行動

～市町村長が避難の時期・区域を
適切に判断するための支援～

【できるだけ早期に実施】

- トップセミナー等の開催
- 水害対応チェックリストの作成、周知
- 洪水に対しリスクが高い区間の共同点検、
住民への周知

【直ちに着手し、来年の出水期までに実施】

- 氾濫シミュレーションの公表
- 避難のためのタイムラインの整備
- 洪水予報文、伝達手法の改善
- 市町村へのリアルタイム情報の充実

2. 地域住民を支援する緊急行動

～地域住民が自らリスクを察知し
主体的に避難するための支援～

【できるだけ早期に実施】

- 洪水に対しリスクが高い区間の共同点検、
住民への周知（再掲）
- ハザードマップポータルサイトの周知と活用
促進

【直ちに着手し、来年の出水期までに実施】

- 家屋倒壊危険区域の公表
- 氾濫シミュレーションの公表（再掲）
- 地域住民の所在地に応じたリアルタイム情
報の充実

トップセミナー等の開催

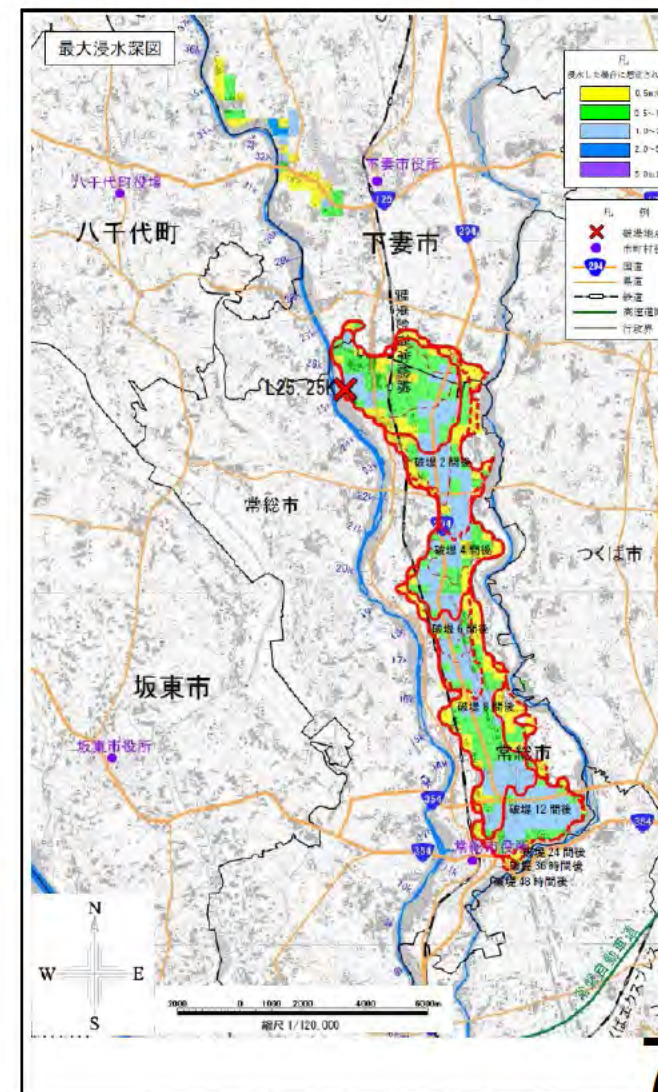
- 洪水予報、ホットラインなど出水時に河川管理者から提供される情報とその対応等を首長と確認

市町村職員への説明会事例

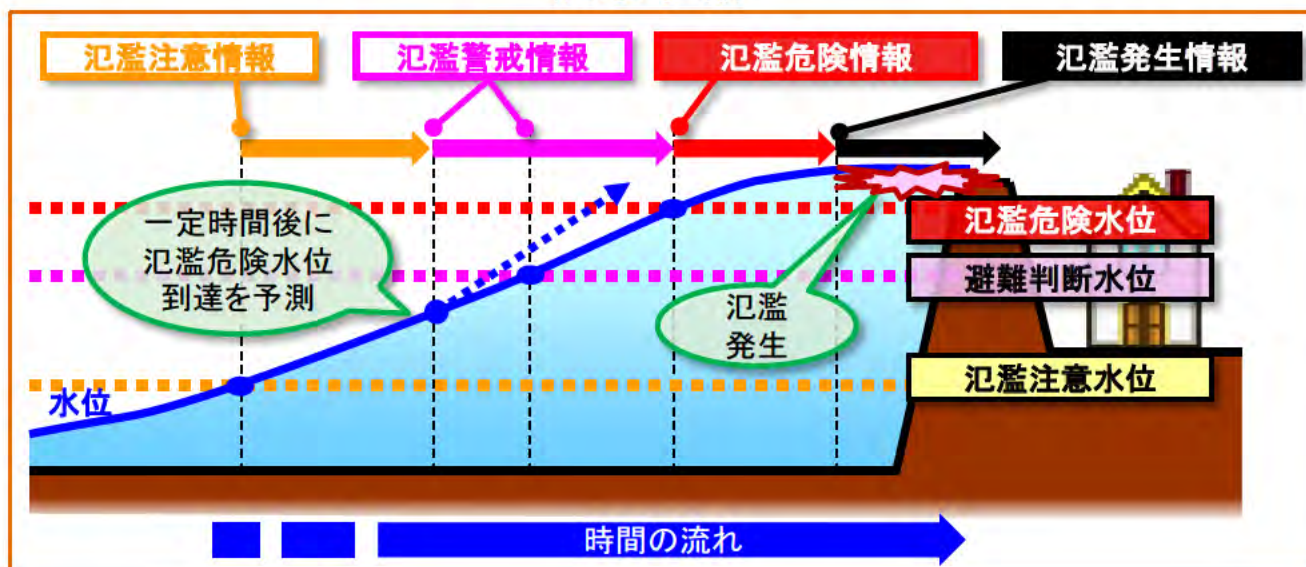
- ・ 氾濫危険情報等の河川防災情報の解説
- ・ 氾濫シミュレーションの解説
- ・ 避難に必要なリードタイム等について意見交換



氾濫シミュレーション



洪水予報



出水時に河川管理者が提供する情報等

○水位に関する情報



河川管理者が提供する情報等

河川の水位	情報提供	備考
(はん濫の発生)	はん濫発生情報	—
はん濫危険水位	はん濫危険情報	避難勧告の発令判断の目安
避難判断水位	はん濫警戒情報	避難準備情報の発表判断の目安
はん濫注意水位	はん濫注意情報	—

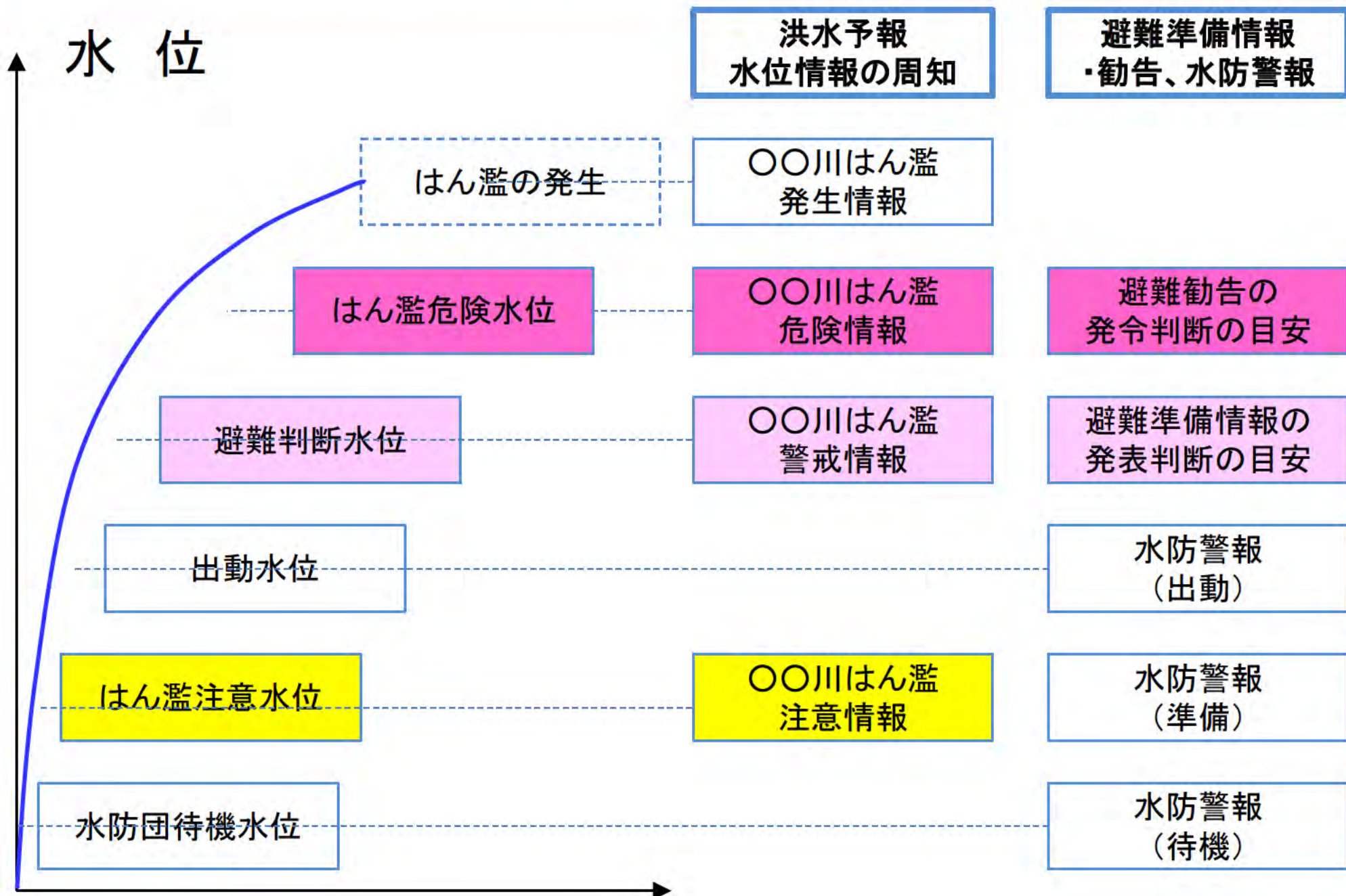
○堤防の損傷に関する情報



河川管理者が提供する情報等

堤防等の変状	情報提供	備考
(はん濫の発生)	はん濫発生情報	—
異常な漏水、侵食の発生	異常な漏水、侵食に関する情報	避難勧告の発令判断の目安
漏水・侵食等の発生	漏水・侵食等に関する情報	避難準備情報の発表判断の目安

水位の上昇に伴う河川管理者からの情報提供等



- ## ○気象・水象情報

○河川事務所からの情報提供

【チェックリストによる確認】



10

洪水に対しリスクが高い区間の共同点検、住民への周知

- 流下能力が低い区間や過去に漏水があった箇所など、洪水に対しリスクが高い区間（重要水防箇所等）の共同点検を事務所、地方公共団体、水防団、自治会等で実施し、情報共有。あわせて住民まで周知

洪水時の堤防等の漏水



共同点検を実施 （事務所、地方公共団体、自治会等）



秋田河川国道事務所における重要水防箇所の共同点検



流下能力が低い区間



天竜川上流河川事務所における重要水防箇所の共同点検

● トップセミナー等の開催

関係機関： 鈴鹿川、雲出川、櫛田川、宮川の直轄管理区間関係市・町

出席： 市長・町長、三重河川国道事務所長

実施時期： 平成27年10月～11月予定

● 「避難を促す緊急行動」についての説明会
(三重四河川災害対応連絡会幹事会)

実施日： 平成27年10月20日

関係機関： 鈴鹿川、雲出川、櫛田川、宮川の
直轄管理区間関係県・市・町等



説明会実施状況(平成27年10月20日)

● 共同点検の実施

実施日： 平成27年11月中予定

参加者： 鈴鹿川、雲出川、櫛田川、
宮川の直轄管理区間関係市・町、水防団、自治会(住民)等